

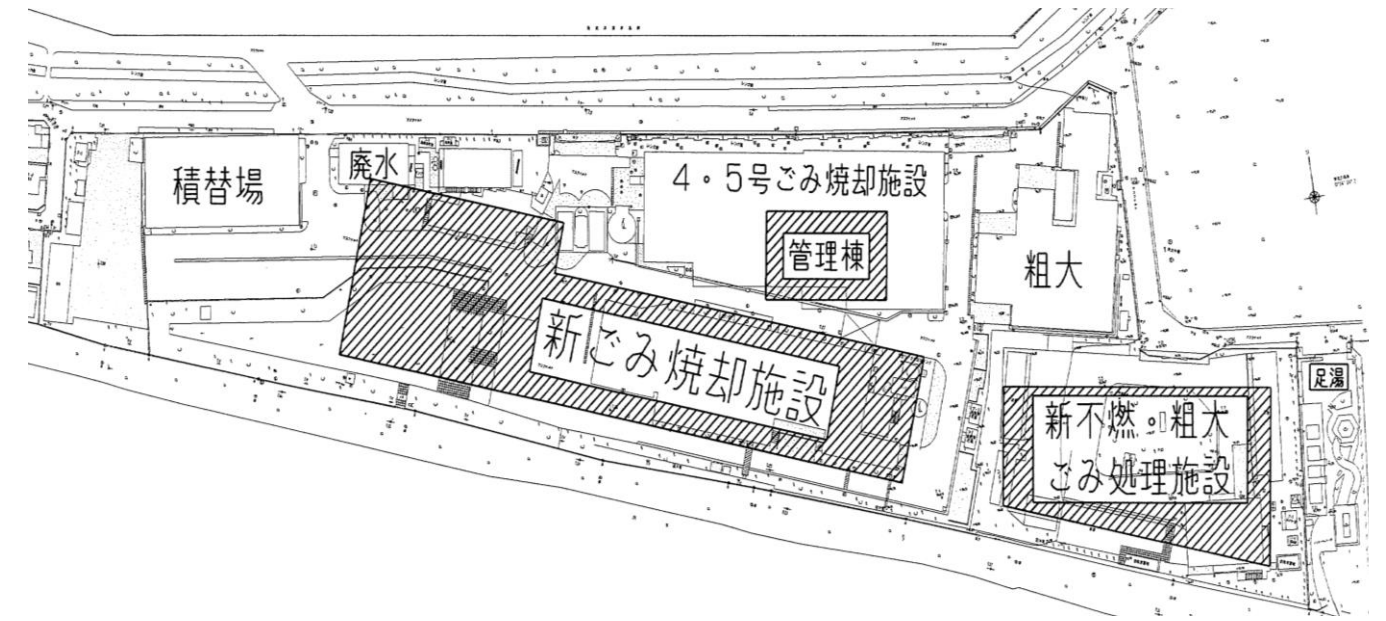
## ごみ焼却施設の更新方法について（案）

### 1. 新ごみ焼却施設の配置について

今後の施設のあり方を基に、以下の内容を勘案し配置案を検討しました。

- 更新工事期間中の支援量  
ごみ処理の安定性の向上とごみ処理支援の削減を図ります。  
⇒処理能力の大きい4・5号ごみ焼却施設を稼働しながら更新工事を行うこととしました。
- 工場への出入口動線  
小平市第A-1号線及びA-3号線を通行する一般車両や自転車、歩行者の安全を確保します。  
⇒3号ごみ焼却施設跡地に配置することにより、清掃車両の出入口を小平市第A-1号線の直線部に配置でき、見通しがよく、また、搬出入カーブ部を避けることができ安全を確保できます。
- 環境の保全（騒音・振動・臭気）  
騒音、振動、臭気等の環境影響を極力低減し、環境保全を図ります。  
⇒新ごみ焼却施設では、高度な排ガス処理設備や発電設備の設置により、既存3号ごみ焼却施設より大きくなるため西側に拡張されますが、敷地境界との距離はおおよそ60メートルほど確保できると見込めます。騒音、振動を発生する機器類は防音構造の建屋内に収めるとともに臭気の発生するごみピットは負圧として臭気の漏洩を防止します。
- 景観、建物高さ  
歴史環境や玉川上水の景観に調和した施設を目指します。  
⇒周辺の景観に配慮して敷地内の緑化、建物デザイン・色彩等を計画します。  
敷地南側に施設が配置され、小平市第A-1号線に面した4・5号ごみ焼却施設跡地や粗大ごみ処理施設跡地の解放空間を利用した周辺景観に配慮した施設計画が可能となります。
- 敷地南側の一部に小平市の条例により自然的景観の維持を目的として建物の高さ制限があります。新ごみ焼却施設はこの高さ制限の範囲に一部入るため、掘削するなどの対応が必要となりますが、一方で建物高さを低く抑えることにより、圧迫感の軽減が図られます。
- 地域貢献  
地域に信頼され、親しまれる施設を目指します。  
⇒敷地南側に施設が配置され、小平市第A-1号線に面した4・5号ごみ焼却施設跡地や粗大ごみ処理施設跡地を活用し、管理諸室や地域貢献・環境学習機能等施設管理機能の検討がしやすくなります。

### 新ごみ焼却施設基本配置（案）



※イメージ図であり詳細設計された図面ではありません

### 2. 建設手順

- 粗大ごみ処理施設を解体します。
- 粗大ごみ処理施設跡地に仮設の計量機を設置し、ごみ搬入車両の動線を確保します。
- 3号ごみ焼却施設を解体します。
- 3号ごみ焼却施設跡地を利用し新ごみ焼却施設を建設します。
- 新ごみ焼却施設稼働後に4・5号ごみ焼却施設を解体して、別棟で管理事務所を建設します。